

大田黒公園で「春の桜茶」を味わいませんか。

本日18日(金)から3日間、区立大田黒公園(荻窪3-33-12)で、「春の桜茶」が催され、八重桜が満開を迎えた庭園でまさに春を味わっていました。この「春の桜茶」は20日まで開催され、各日50セットが販売されます。

大田黒公園は、文化功労者で音楽評論家だった大田黒元雄氏おおたぐろもとお(明治26年～昭和54年)の屋敷跡(約9,000㎡)を区が整備し、昭和56年にオープンした公園で、広々とした芝生が広がり、錦鯉が優雅に泳ぐ池や大田黒元雄氏の記念館、数寄屋造りの茶室など、風情のある日本庭園となっています。

そんな日本庭園の景色の中で目でも口でも春を楽しんでもらおうと今年で3回目の開催となったのが「春の桜茶」です。結納などの慶事で飲まれる「桜茶」。湯を注ぐとふっくらと花開く様子はまさに春のイメージともぴったり重なります。そんな桜茶と和菓子のセット(300円、各日50セット)を販売。来園者の一人、70代の女性は「ここは都会の喧騒をはなれたまさに別世界。この美しい庭園で桜茶をいただくのが毎年の楽しみです。」と話していました。



桜茶を味わった後は、回遊式日本庭園をゆっくりと散策してみるのがお勧めです。広々とした芝生、ナラやケヤキなどの木立にも若葉が芽吹き始めています。同時に開催されている野草展をのぞいてみれば、可憐な花々にも心が和むことでしょう。

大田黒公園「春の桜茶」

【日時】4月18日(金)～4月20日(日) 入園無料

【会場】区立大田黒公園(荻窪3-33-12) 駐車場はありません。

【アクセス】JR・東京メトロ「荻窪駅」南口下車徒歩10分

20日(日)は箏のコンサートも行われます。

(①午後1時30分～ ②午後2時30分～、雨天の場合は中止)

[問い合わせ先]

大田黒公園： TEL 3398-5814